

三重県のり情報

＜発行＞三重県漁業協同組合連合会 指導部

(住所) 三重県津市広明町323-1
(Tel) 059-228-1205

(HP) <http://www.miegyoren.or.jp/>
*ネット上で公開しています。「養殖情報ネットワークみえ」のトップページに入力があります。

【海況=14日・栄養塩動向調査結果】

＜水温＞各漁場の水温は12.7～15.9℃です。白子港の水温、比重ともに平年並で推移しています。

＜プランクトン＞現在、植物プランクトンの発生している漁場があります。今後の動向に注意してください。

＜栄養塩類＞栄養塩量は鈴鹿地区以南でやや少なくなっています。

【名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁)】
15日0時～10時現在、潮位図に比べて -6cm～+3cmで推移しています。

★情報収集、普及活動、試験分析担当

＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室

(tel)059-223-5132

＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室

(tel)0596-27-5189

＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所

(tel)0599-25-3316

＜試験分析等＞

三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

(tel)059-386-0163

★本紙の無断転用・複写等は固くお断りします。

【お知らせ】

次回の栄養塩動向調査は12月21日(水)です。

*採水は20日(火)

り情報の発行は12月22日(木)の予定です。



この時期の注意点等

鳥羽地区の桃取、答志でも生産が開始されました。

鈴鹿地区以南の漁場で生産が進められており、鳥羽地区の桃取、答志でも生産が始まりました。葉体の色は、県下全域で概ね良く、製品も色の良いものが出ています。14日の調査では、栄養塩量は鈴鹿地区以南でやや少なくなっており、植物プランクトンも鈴鹿地区を中心に先週と比べて増加しています。今後の海況の好転に期待したいところです。

生産が本格化してきましたが、葉体の伸ばしすぎに注意して早期摘採を行い、次の生産に備えて下さい。

また、製品については、自主選別を徹底して行き、異物混入防止に努めて下さい。

次回の栄養塩動向調査⇒12月21日(水)

12月14日第1回共販結果 ()は去年同期
枚数: 3,833千枚 (4,724千枚)
金額: 60,821千円 (70,971千円)
平均単価: 15.87円 (15.02円)

第2回共販(12/25) 出品見込数量 1,040万枚 (12/15現在)

【三重県り情報 (PDF版) はwebで見ることもできます】
『養殖情報ネットワークみえ』トップページ
<http://osakana-mie.com/>

【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】
http://osakana-mie.com/cgi-bin/mie_gyo/user/phone.cgi

上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。
または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

*機種によっては利用できない場合があります。

